

# アンテナバラン 組立部品セット DB-75H-V2

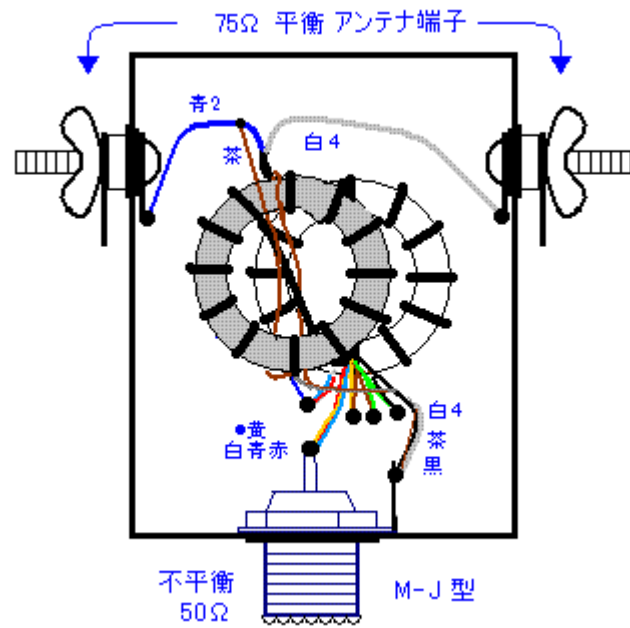
50Ω 不平衡 : 75Ω 平衡 1MHz~30MHz  
 許容入力電力 : 連続 100W / CW 200W / SSB 300W  
 サイズ65W×100H×35Dmm(突起物を除く) 重量 約 150g

## 50Ω : 75Ω (78.125Ω) バランの作り方

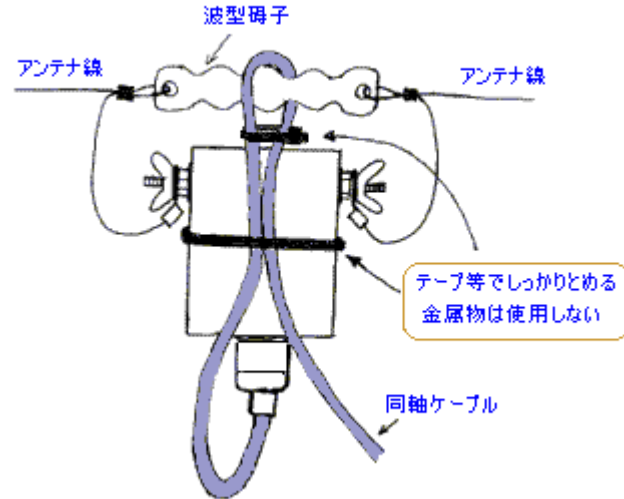
- このDB-75H-V2は、インピーダンス変換・コアとバラン・コアの2個のコアで構成します。0.65mm7本組被膜線と、0.5mm7本組被膜線をコアの巻き方のように、12回巻きます
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします (結線のジョイントはテープなどを巻いて絶縁します)
- プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図

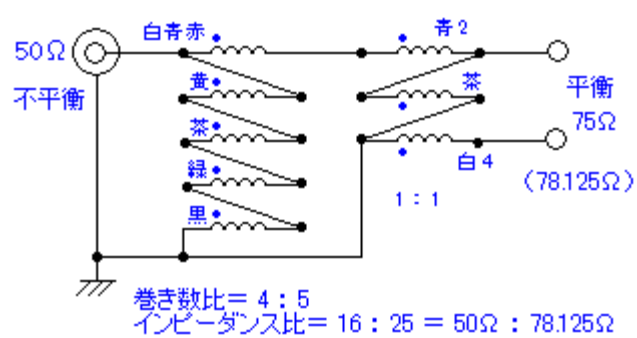
組立完成例



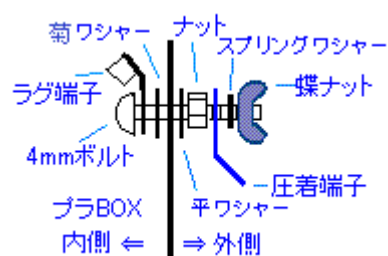
### バラン取付方法



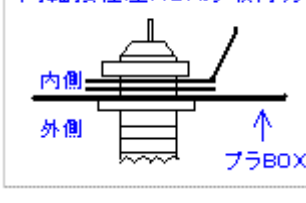
### 回路図



### アンテナ端子取付方法



### 同軸接続座MBRの取付方



### 部品表

フェライトコア E04RC311908---	2
0.65mm 7本組被膜線	55cm
0.5mm 7本組被膜線	55cm
M型接続座 M-BR	1
ステンボルトナットワッシャー	
蝶ナット、ラグ端子	2組
プラボックス	1
波型端子	1
結束バンド	2

## コアの巻き方

### インピーダンス変換・コア

- 0.65mm 7本組被膜線を半分ほどで折り返します
- 0.65mm 7本組被膜線をコアに約半分の長さで通します
- 半分の0.65mm 7本組被膜線を6回巻きます (コア内通過数)
- もう半分の7本組被膜線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数) 合計12回巻きます
- 端末配線  
7本組被膜線の両端の白青赤線を下図のように結線ねじり合わせ、さらに、巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます
- 結線ジョイント3ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します (●茶・黄線、●緑・茶線、●黒・緑線)

コア完成例

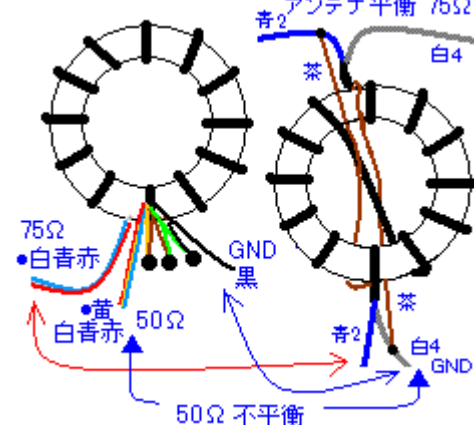


### インピーダンス変換とバラン・コアの結合

右図のように巻いて出来た2個のコアを結合接続します

白青赤の結合線ともう一方の青2本結合線をよじり合わせ結線ジョイントします (テープなどを巻いて絶縁しておきます)

また、両コアのGND黒線ともう一方の白4本、茶1本もよじり合わせ結線します



### バラン・コア

- 0.5mm 7本組線を半分ほどで折り返します
- 7本組線をコアに約半分の長さで通します
- 半分の7本組線を6回巻きます (コア内通過数)
- もう片側半分の7本組線を図のように反対側に引張ります
- 同様に6回巻きます (コア内通過数) 合計12回巻きます
- 端末処理  
コアに巻いた7本組線の両端とも、下記のように結線します (黄4本組、赤2本組、茶1本を結線し、ねじり合わせます)
- 端末配線  
茶線は、下図のように巻き始め、巻き終わりを交互して不平衡側の白4線と、平衡側(アンテナ)は、青2線と接続します

コア完成例

